

# ぼむ・ぼむ通信

№.43

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ぼむぼむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ活動に積極的にご活用ください。



## ～ 第 30 回ユニセフハンドインハンド募金～

ぼむ・ぼむ通信 43 号

### 目次

生協とユニセフ活動	30年間のとりくみ	1
ガザ人道支援	ベネマン事務局長 ガザを訪問	3
「知っとこ。ユニセフ 『子どもの権利条約』」		4
「世界の子ども達は今 『子どもの権利条約』」		5
生協のユニセフ活動「ハンド・イン・ハンドのおしらせ」		6

### ぼむぼむ通信 活用のすすめ

- ・ 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでの使用をおすすめします。
- ・ 全てのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子ども達は今」を集めて、資料として活用していただけます。
- ・ ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に、資料としてご活用いただけます。
- ・ 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- ・ 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。

## 生協とユニセフ活動・・・30年間のとりくみ

生協がユニセフ募金を始めたのは、1979年の国際児童年のことです。ユニセフ本部（ニューヨーク）の子どもたちへの働きかけに協同組合の国際組織であるICA（国際協同組合同盟）が賛同したことがきっかけでした。ICAに加盟する日本生協連は、このよびかけに応じて全国の生協にユニセフ活動への協力をよびかけました。この年の募金活動は『「バケツ1杯の水」を送る運動』として取り組まれ、1年間で1800万円の募金が集められました。



ユニセフ活動で使用しているイラストです。



スワジランド事務所の方から現地の様子についてお話を聞きました。

その後、1980年代に入り、アジアやアフリカの貧困や飢餓など、発展途上国の子どもたちの状況がメディアで報道されるにつれて、国際的な助け合い活動の大切さが多くの人に理解されるようになりました。そして1982年7月、ICA女性委員会の採択したアピール「国際的な助け合い活動の重要性」にあわせ、日本の生協でも国際的な助け合いの活動の重要性について話し合われることとなり、ユニセフ活動が瀬神戸生協（現コープこうべ）、市民生協（現コープさっぽろ）、みやぎ生協などで始められました。

このようなユニセフ募金の取り組み事例がすすみ、日本生協連も1984年の通常総会で、ユニセフ活動を推進することがよびかけられ、全国的なユニセフ協力活動がはじまりました。

その後、生協のユニセフ活動は、「わが子への愛を世界のこどもたちに」「進めよう予防接種募金」「世界のお母さんが読み書きできて子どもの命がまもられるように」「アジアの子どもと女性の自立のために」といった呼びかけとともに30年の歴史を重ねました。今では多くの生協で幅広い組合員の協力による国際的な助け合いの活動として大きくひろがっています。



フィリピンの子どもたち



ネパールの女性たち

生協のユニセフ活動の特長は、大人から子どもまで幅広い人々が関わっていることです。また、生協では単に募金を集めることだけでなくユニセフの事業活動がなぜ必要となるのか、世界が抱える問題について組合員の皆さんに理解を深めていただくための学習企画や教育活動を重視しています。



ユニセフリーダー研修会の様子です。現地事務所の方と話し合ったり、参加者同士でアイデアを出しあったりしています。

日本生協連がユニセフを国際支援活動のパートナーとしているのは、組織として理念が明確なこと 世界的に幅広い地域で活動していること 現地に活動拠点をもっている組織であること 募金が確実に現地で活用されること、という4つの点において、信頼しているからです。今後も、各生協のユニセフ協力活動地域へのスタディーツアーへの参加や、ユニセフ活動リーダーの育成などをおして、パートナーシップを強化していけるよう、取り組んでいきます。



全国の生協のとりくみ

左；レジ横の割り箸で募金

中；駅前で「ハンドインハンド」募金

右；ユニセフすごろくを楽しむ参加者のみなさん



## ガザ人道支援 ベネマン事務局長 ガザを訪問



© UNICEF/NYHQ2009-0060/EI Baba

アン・ベネマンユニセフ事務局長は、3月7日、昨年末から先月に掛けて続いた武力衝突の傷跡が深く残るヨルダン川西岸やイスラエル南部、ガザを含む中東各国・地域の一週間にわたる視察を終えました。

「何の罪も無い子どもたちが、この武力衝突の犠牲者です」と、ベネマン事務局長。「学校は損害を受け、住む家を失い、多くの子どもたちが身体的、精神的に傷を負っています。」

ベネマン事務局長は、武力衝突の舞台となったガザで、損害を受けた学校や小児科病院、心理カウンセリングセンターなどの場所に、またイスラエル南部の町ステロットにある学校も訪れ、今回の武力衝突によって影響を受けたパレスチナとイスラエル双方の子どもたちと直接対話する機会を持ちました。

ガザの学校は深刻な影響を受けており、10校が全壊、168校が部分的に損害を受けました。また、イスラエル南部の学校も武力衝突の攻撃を受けました。



© UNICEF/NYHQ2009-0053/EI Baba

ベネマン事務局長は、人道支援活動と復興支援のため、ガザへの支援物資と人道支援専門家のアクセスの制限を解除する必要性を強調しました。ガザでは、学校や病院、クリニック、住宅の再建のための建設資材や水道と下水道の復旧のための資材、学校用の教材などが緊急に求められています。

今回の武力衝突が始まってから、ユニセフは、緊急医療物資を含め、水と衛生施設の修復のための資材や飲料水、公衆衛生物資、栄養不良改善のための治療用の食品などの提供のほか、子どもたちや子どもたちの世話をする人々など、支援の最前線で活躍する人々たちへの心理的サポートなどの支援活動を行っています。また、ユニセフは、できる限り早く子どもと先生が学校に戻れるよう学校教材も提供しました。

「子どもたちには優れた回復力があります。だからこそ、適切なケアと教育の機会を提供し、子どもたちを保護し、普通の生活に戻れるように支援することが、『今』必要なのです。私たちは、今、この時期の支援活動を滞らせるわけには行きません。」(ベネマン事務局長)

### [ご支援による具体的な活動]

2つの新生児ケアの施設を改修し、更に10の新生児施設に保育器等の医療資機材、必須医薬品等を供給する。また、産科施設に助産機材等を供与する。

5歳未満児のために、必須医薬品、微量栄養素などのサプリメントを供給する。

13の病院とプライマリ・ヘルス医療施設に、集中治療機能の強化のための医療機材や試薬品、検査キットなどを供給する。

コミュニティの6つの栄養治療センターに栄養補助食品や治療用のミルクを供与し、1200人の子どもの栄養改善を図り、家族のためのカウンセリングサービスや保健衛生や栄養に関する情報も提供する。

少なくとも5つの病院で、最低限の治療、外科手術、検査設備が機能するように、発電機の供与などの機能強化支援を行う。

約30万人の住民に安全な飲料水を提供するために、海水を飲料水に利用できるようにする浄水施設の設置や地域や避難施設(主に学校)での給水活動を行う。

知りたい?

## 知っとこ。ユニセフ 子どもの権利条約

Q **ユニセフの使命** のなかに **子どもの権利を守る** 児童の権利に関する条約（**子どもの権利条約**）に基づいて などの項目がありました。権利・人権とは？ 中々理解が難しいです。  
「子どもの権利条約」をわかりやすく教えてください。

A はい。ユニセフを知る上で「子どもの権利条約」を理解することは 大切です。深いかわりがあります。まずは 質問にでてきた**ユニセフの使命**をかみしめてみましょう。

**ユニセフ 50 周年の 1996 年 ユニセフの使命（ミッション・ステートメント）が文章で示されました**

- \* ユニセフは子どもの権利を守り、子どもが持って生まれた能力をじゅうぶんに発揮できるチャンスを広げるために活動する国際連合の機関です。
- \* ユニセフは「子どもの権利条約」に基づいて活動し、この条約が広く子どもに対する行動の基礎となるように努力します。
- \* ユニセフは子どもの生存、保護、発達が人類の進歩にとって欠かせないものだと考えます。
- \* ユニセフは各国の政府などに働きかけ、「子ども最優先」が実現するように支援します
- \* ユニセフはもっとも困難な状況にあるこどもたちが特別の保護を受けられるようにします
- \* ユニセフは緊急事態にすばやく対応を必要としている子どもを優先的に援助します
- \* ユニセフは中立の機関で、もっとも支援を必要としている子どもを優先的に援助します
- \* ユニセフは女性と女の子が男性と同じ権利を得られるようにします
- \* ユニセフは国際社会の平和と調和のある発展をめざします。

子どもの権利？ ・ **権利**ってなんでしょう？

人間らしく

生きるため

必要なことを

手に入れられること

自分にも友だちにもある権利、自分と同じように他の人の権利も大切にする責任があります。  
みんなの権利が守られるためには どうしたらいいのでしょうか？

**人権・基本的人権**ってなんでしょう？

人間が人間らしく生きていくために

社会によって認められている権利

1948 年「世界人権宣言が」国際連合で採択されました

では **子どもの人権**って？

おとなになる途中の未熟なひと・おとなの持ち物・として扱われてきた「子ども」  
子どももひとりの「人間」です。

人間として尊重

→  
プラス

保護を受けなくてはならない部分もある

この考えのもとに 1989 年「**子どもの権利条約**」が生まれました。

大きく分けて 4 つの権利があります **生きる権利**・**育つ権利**・**守られる権利**・**参加する権利**

このつづきは 次回に・・・おたのしみに！



# 世界の 子供たちは今

## 子どもの権利条約

「子どもがみんなしあわせに、そして責任ある大人になってもらいたい」という世界共通の願いから生まれた「条約」で、4つの「子どもの権利」を守るように定められているんだよ！



長い間「子ども」は大人の「持ち物」として扱われていたんだよ。だけど、子どもにも同じ人間としての「人権」があるんだ！

### 生きる権利

ふせ 防げる病気などで命を失わないこと。病気やけがをしたら治療をうけられること。



### 守られる権利



あらゆる種類の<sup>ぎゃくたい さくしゆ</sup>虐待や搾取などから守られること。

障害のある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。

ぼくたちにも、他の友だちにもある！世界の子どもたちすべてが、生まれながらに持っている「権利」なんだよ！



### 育つ権利

教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つ事ができること。



### 参加する権利

自由に意見を发表或したり、集まってグループを作ったり、自由な活動を行ったりできること。



自分も他の人も大切にする心が大事なんだよ！次回から「子どもの権利条約」を、もっと詳しく調べてみよう！！





### 第30回ユニセフハンド・イン・ハンド募金を行いました



#### コープぎふ 地区総合支援部

2008年11～12月(財)日本ユニセフ協会が呼びかける全国統一募金活動「第30回ユニセフハンド・イン・ハンド」をコープぎふも取り組みました。県内各地18会場で開催し、そのうち6会場では、地元の小中学生や高校生も参加しました。毎年地域の学校や児童、生徒といっしょに取り組むスタイルが定着してきています。また、今年は2会場でFCぎふジュニアの参加もありました。

お寄せいただいた募金は(財)日本ユニセフ協会にお届けし、今年のテーマ「守りたい。子どもたちの命、アフリカの未来」のもと、世界の子どもたちのために役立てさせていただきます。

みなさんのあたたかいお気持ち、本当にありがとうございました。

**参加者数 : 202 名**

(昨年 181 名)

**街頭・店頭募金額 :**

**合計 30 万 4546 円**

(昨年 28 万 1571 円)

**「ハンド・イン・ハンド OCR 募金」**

**37 万 5500 円(昨年 76 万 9100 円)**

**街頭・店頭、OCR 合わせて総額 68**

**万 46 円(昨年 105 万 671 円)の募**

**金となりました。**



アピタ各務原店前



ショッピングセンターピア(益田)



カラフルタウン(岐阜)

2008 年 12 月 7 日、14 日、16 日

年末恒例となっている日本ユニセフ協会のハンド・イン・ハンド(街頭募金)も今年で 30 回目を迎えました。日本ユニセフ協会福島県支部の呼びかけに対して県連ユニセフ委員会においても参加を確認し、開催地区ごとに各会員生協の組合員の皆さんの参加を呼びかけました。

今年の開催地区は昨年の郡山地区、福島地区、会津地区、白河地区の 4 会場に更にいわき地区を加えた 5 会場となりました。今年のスローガンである「守りたい、子どもの命、アフリカの未来」を掲げ、郡山地区といわき地区は 12 月 7 日(日)、福島地区と会津地区は 12 月 14 日(日)、白河地区は 12 月 16 日(火)に行なわれました。



郡山会場でのボランティアの皆さん



いわき会場でのボランティアの皆さん



福島会場でのボランティアの皆さん



会津会場でのボランティアの皆さん



白河会場でのボランティアの皆さん

各開催地ではその地区の購買生協、医療生協の皆さんをはじめとして大学生や小学生のボランティアの皆さんの参加があり、比較的天候にも恵まれた中で街行く人々にユニセフの活動をお知らせし、募金の協力を呼びかけました。

初めての開催となったいわき地区では鹿島ショッピングセンターエブリアにおいて、地域の生協のパルシステム福島、浜通り医療生協のボランティアの皆さんが中心となつての取り組みで買い物客の募金を呼びかけました。

	開催地域	開催会場	開催日	参加者数	募金額
各地域の会場、募金額は右の通りです。	郡山地区	岩瀬書店富久山店店頭	12 月 7 日	15 名	27,863 円
	いわき地区	鹿島ショッピングセンター エブリア店頭	12 月 7 日	22 名	53,963 円
	福島地区	JR 福島駅東口広場	12 月 14 日	27 名	65,819 円
	会津地区	生協コープあいづ あいおい店店頭	12 月 14 日	19 名	14,688 円
	白河地区	福島県南生協天神町店店頭	12 月 16 日	10 名	21,487 円



12月23日を中心に、12月9日から22ヶ所で「第30回ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金に(財)日本ユニセフ協会埼玉県支部とさいたまコープが共同で取り組みました。

ユニセフ ハンド・イン・ハンドには、さいたまコープエリア会・くらぶ(さいたまコープの組合員親子)・さいたまコープ・コープネット、県支部ボランティア、埼玉県生活協同組合連合会、埼玉新聞社、丸広百貨店、八木橋百貨店などの協力により317人が参加、総額456,345円の募金をお預かりしました。

駅頭での募金活動のほか、さいたまコープの店舗ではユニセフ学習会後に募金活動や店頭でのオカリナ演奏、コープデリのキャラクター「ほぺたん」が参加して募金の呼びかけなどをおこないました。

ご協力いただいた募金は、(財)日本ユニセフ協会を通じ国連ユニセフ本部へ送金し、世界150以上の国と地域で子どもの保健、水と衛生、教育、保護等の分野の支援事業に使われます。



埼玉県のマスコット「コバトン」も募金を呼びかけました  
(浦和駅・駅頭)

## **めいきん生協(名古屋市勤労市民生活協同組合)**

### 249,311円の募金が寄せられました

08年のユニセフ ハンド・イン・ハンド募金は、18ヶ所で、延べ72名のボランティアが参加して行われ、249,311円の募金が寄せられました。ご協力ありがとうございます。

各会場の参加ボランティアから寄せられた感想の中では、厳しい景気を反映した募金の様子についての報告が目立ちました。



#### <参加ボランティアの声から>

- ・「ポイント4倍デーで来店客が多く、募金協力数も多かった。金額が少ないのは景気のせい？」
- ・「地下鉄駅付近では、高校生が”100円しかできない”と言いながら、関心を持って募金してくれたことが嬉しかった」
- ・「生活が厳しくあまり募金できないという声がよく聞かれた」
- ・「外国の人も募金してくれた。サンタの衣装で募金活動をしたのが良かったかもしれません」

## ぼむぼむ広場

生協がユニセフ活動に協力することになってから 30 年になります。多くの人にご協力いただいて、ここまでユニセフ活動が続いてきたことは本当に素晴らしいことだと思います。次の 30 年も、生協とユニセフをよろしくお願いします。(下条)  
全国の活動事例や、ぼむぼむ通信の感想・ご意見をぜひお寄せください。  
次号は、6 月 15 日発行です。お楽しみに！

ユニセフ＊コープネットワーク  
**ぼむ・ぼむ通信**  
No.43 2009 年 3 月 13 日発行  
編集 **グループ ぼむ・ぼむ**  
スタッフ・編集 / 尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・  
松本・山本・谷口・下条  
イラスト / 蛸沢  
発行 日本生協連 組合員活動部  
〒150-8913  
東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11F  
TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125  
ホームページ <http://www.jccu.coop/>